

(様式第7号)

令和4年度 年度評価表

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴市商工観光センター		
指定管理者	舞鶴商工会議所		
設置目的	商工業、観光等地域産業の振興を図り、もって地域の活性化に寄与するため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
所管課	産業振興部産業創造室産業創造・雇用促進課		

2 利用状況等の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	年度
利用者数(人)	34,727	14,985	15,999	20,876	
利用料金(円)	7,475,474	20,218,773	4,979,254	5,918,344	
指定管理料(円)	61,200,000	63,377,000	63,377,000	63,377,000	

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
施設利用人数	45,000人	43,560人	20,876人	48%
施設利用件数	1,800件	1,750件	1,253件	72%
交流事業参加人数	—	3,300人	0人	0%
観光ガイド養成講座受講者数	—	35人	30人	86%
パソコン講座受講者数	—	90人	39人	43%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	5,918,344	人件費	13,148,660
指定管理料	63,377,000	維持管理費	57,534,145
事業収入	504,840	事業費	1,370,782
その他	6,449,266	その他	4,195,378
合計	76,249,450	合計	76,248,965
差額			485

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	利用人数、件数は昨年度と比べて回復基調にあるものの、コロナ禍の影響が続き、利用人数、利用件数ともに目標を大きく下回った。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	商工業、観光等の産業振興につなげる取組として、パソコン教室やネイチャーガイド養成講座を実施するなど、積極的に自主事業を展開した。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	コロナ禍で実施を断念した交流事業はあったものの、市の観光・商工業の発展を目的に、市主催事業と連携し企業紹介の機会を設けるなど、可能な範囲で自主事業を展開した。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	新型コロナウイルス感染防止を優先し、中止せざるを得ない事業はあったが、実施が可能なものについては参加人数を減らす等実施に向けた工夫が見られた。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	利用者が安心して施設の利用ができるよう、感染防止対策を行った。ホームページを活用して施設の情報発信を行ったほか、問い合わせや下見の段階から丁寧に対応する等利用者寄り添った対応が見受けられた。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	◎	満足度アンケートによると、「良い」「やや良い」の評価が71%を占め、職員の対応、施設管理ともに概ね高評価。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	◎	施設の満足度アンケートによる利用者の意見は概ね高評価で、具体的な改善要望に対しても対応できるものは改善していた。

利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	◎	市営七条海岸駐車場の移転により、専用駐車場が廃止されたことに伴う利用者からの苦情が多少あったものの、丁寧な説明と市との情報共有・対応により大きなトラブルには至らなかった。通常の施設使用に対しても、特にトラブルなく対応している。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	◎	物品購入、業務委託に係る見積合わせや節水・節電の推進をはじめ、電力会社との有利な特約を結ぶなど、経費の節減に繋がる様々な対応が図られた。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	◎	見積合わせのほか、費用対効果についてもよく検討し、経費の節減に努められた。
収入増加のための取組が行われたか	○	情報発信力では課題はあるものの、オンラインで開催できるイベントについて需要を一定取り込んでいた。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	離職による一時的な人員不足がありながらも、早めに求人を出す等の対応を行い、適切な人員配置に努められた。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	適切に行われている。
施設の平等な利用が行われたか	○	平等な利用が行われている。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	適切に管理されている。
情報の公開が適切に行われたか	○	適切に行われている。
収支状況や会計処理が適切か	○	適切に処理されている。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	センター管理業務仕様書に基づき、適正に管理されている。
備品等の管理が適切に行われたか	○	適切に管理されている。
危機管理、安全対策などは十分か	○	避難訓練を実施されるとともに、館内での犯罪や事故発生時に迅速かつ的確に対応できるよう、「危機管理マニュアル」を作成されている。また、体温測定器や消毒液を設置し、感染予防対策に務められた。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適正に管理されている。
(5) その他コメント		
サービス向上	施設利用者が安心して利用ができるよう、問い合わせの段階から丁寧な対応がされており、アンケートにおいても概ね「良い」の評価をいただいている。自主事業については商工会議所の会報のほか、専用ホームページや民間広報媒体を活用して情報発信していたが、周知が図られているとは言い難い面もある。利用人数を増加し、利用料収入を上げるためにも、ビジョンに基づき今後の事業の充実を期待するとともに、市民から親しみやすい施設になるよう来館者、利用者の向上に向けた工夫が図られたい。	
経費削減	可能な限りの経費削減を行っている。引き続き節電や照明のLED機器への交換、電気料金の契約見直し等、電気使用量（ランニングコスト）の削減に努めるとともに、委託費等についても内容を精査し、経費の節減に努められたい。	
施設の維持・管理	法定点検による消防設備及び建築設備の指摘事項には、迅速に対応・改善が図られている。経年劣化による設備不良が相次いだが、初期対応と市への情報共有が迅速に行われている。引き続き、適切な施設管理に努められたい。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	3点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	<p>評価は良好である。</p> <p>利用者が増加していない。</p> <p>ホームページが地味である。</p> <p>いつも人がいないイメージであるので、コンベンションホールの利用を増やしてはどうか。</p> <p>1階の利用が市民に浸透していないので、クールスポット等の利用も考えてはどうか。</p>	

《参考》 過年度の評価点

令和元年度	令和2年度	令和3年度	年度	平均
3.16点	3.33点	3点		3.16点